

江村りさ

ついに、議員定数削減へ！

市民の皆様にご協力いただいた直接請求(ご署名)がようやく一つのかたちに現れました。
今回のテーマは、『議会改革』です。

江村理紗



地域政党京都党 幹事長
京都党市会議員団 団長



市民の皆様の大切な税金が、納得のいく行政サービスとして還元されるように奮闘中！



連日、右京区内各地で街頭演説と共に署名活動を続けました。



テレビ・新聞でも報道されました。

Pickup!

01

議員の一日を本号で初公開！

～「議員って普段どんなことをしてるの？」の疑問にお答えします～

議会の日(集中審議期間)

集中審議期間でない日

午前

7:30 街頭演説@太秦天神川

7:30 街頭演説@広隆寺

9:00 議員団会議



朝は市民の皆様へ市政の近況ご報告。温かいご声援が心の支えです。

10:00 本会議@京都市役所

9:00 市役所にて議案報告

10:30 くらし環境委員会



予決算委員会の質疑は各局ごとに現地調査・連日勉強の上で行います。

10:00 行政機関の視察



市民の方からのご相談、政策調査のために視察は欠かせません。

12:00 会派の調整を行う理事会参加

13:00 行政の式典へ出席

13:30 各会派との意見書・決議の調整
京都党意見とりまとめ



市の様々な式典にも可能な限り出席しております。



議会中の陳情対応、予算要望の提出なども議会の合間をぬって行います。

15:00 支援者の方々へご挨拶



時間ができれば、市政報告まわりを実施しております。

17:30 議員団で勉強会



政策の意識共有も兼ねて議員勉強会を頻繁に実施しております。

17:30 事務所にて陳情・相談

19:00 学生ボランティアと会議



日々の活動を幅広くサポートしてくれる学生部。心強い仲間です。

20:00 地域会議に参加



地域活動にも積極的に参加しております。

22:00 自宅にて事務作業、市政の勉強

日常のほんの一例ですが、市議の活動をイメージしてもらいやすいよう掲載しました。市議として、4年間をムダにすることなく全力で活動中です！



江村りさの活動

テレビ・雑誌・新聞など活動を取り上げていただきました。

日経新聞
“地方政治改革
へ新たな挑戦”
について取材



テレビ朝日の
“きょうナビ”
“がんばれ!新人議員”
で特集

母校である
同志社大学の
「大学案内2015」
にOGとして掲載



Pickup!

議員定数削減は2名減（69名⇒67名）で成立！

02 直接請求から一步前進。

このたび私ども京都党がかねてより主張し続けてきた議員定数削減が前進したためご報告します。来年の地方統一選挙より、2名削減（上京区と左京区が各1名減）が決定しました。そのため議員定数は69名から2名減の67名となります。

京都党の考える9名減にはまだ道半ばですが、直接請求から声を上げ続けてはや3年半。京都市の財政再建のために、まずは議員自ら身を切る覚悟でのまづづくりは始まったばかりです。



右京区の署名を提出

【京都党の主張】

①直接請求の結果

市民の声である有効数3万3,704筆の署名

②一票の格差是正

京都市は行政区ごとの一票の格差が1.53
大阪市に次いで政令市ワースト2位

③委員会構成人員

人口同等規模の政令市、委員会構成人数から見て、各委員会8~10名が適切

→以上より69⇒60名（9名減）を主張

定数の共通認識（市政改革推進委員会）

①1票の格差是正

②1人区（東山区）の定数削減は避ける

京都党は終始一貫した削減を主張！
しかし、他党派は消極的な姿勢。

各党派の定数増減案

京都党：9減を主張→4減了承

自民党：4減を主張→2減

民主党・公明党：2減を主張

共産党：3増を主張

京都党は非交渉党派（議員4名）のため
条例提案ができず、
やむなく賛成

可決 京都市議員定数2減決定

削減で前進したものの…

最終的な定数決定はあまりに
拙速な結論付け。
京都市の「適切数」について
今後さらに議論が必要です。



これまでの経緯

平成22年の京都党結党以来、市民主導の政治を目指し政策提案を進めてきました。議会改革の中でも難題である定数削減に、市民の直接請求というかたちで取り組んだのが事の始まりです。この運動には数多くの市民の皆様にご賛同を頂き、有権者数の1/50（必要法定数）である2万3,000筆を大幅に上回る、3万3,704筆ものご署名をわずか1ヶ月で頂きました。

しかし、この直接請求は当時の議会にわずか一日の議論で否決されました。当時、京都党は議席を持っておらず、私も一連の動きを市民の立場で見ておりましたが、これほどの署名による民意に対し議会は本当に耳を傾けてくれたのか疑問と、無念さを覚えました。そのため、晴れて市議となって以降、市会改革推進委員会の場で当時の想いを訴えました。

定数削減への動きから成立へ

当選後、平成24年の市会改革推進委員会の場で、党を代表して①直接請求の結果（京都市民からの声）②一票の格差是正（京都市は1.53で、政令市ワースト2位）③委員会構成人員の3点から定数削減を主張しました。民意の大きさを受けて、他の議員からも定数削減の声が上がりました。最終的には、委員会の統一見解として、①一票の格差是正②一人区（東山区）の削減は避けるとして、共産党を除いた党派は、概ね定数削減の方向性を打ち出しました。

議員定数削減の成立過程に残る課題

しかし、いざ定数決定の段階において、京都党はこれまで通り9名削減を訴えて参りましたが、他党派からは2名減と非常に消極的な意見が目立ちました。その上、各党派の主張する増減数は入念に調整さ

れるべきであるにも関わらず、強行的に2名減への同意を迫られました。

定数削減の方向性においては多くの政党が一致していたところ、最終局面において、なし崩し的に2名減に留め、お茶を濁して幕引きを図ろうとする議会運営がなされた事は大いに問題です。

今後に向けての取組

私ども京都党市会議員団は9名の定数削減を訴え、市民の皆様と共に署名活動を推進した立場として、今回の2議席の削減だけでこの議論を終わらせることは到底納得できるものではありません。今後とも直接請求にご署名を頂いた3万3,704人の皆様やご賛同いただく市民の皆様とともに、あらゆる手段を検討しながら、さらなる議員定数削減を訴え続けて参ります。

海外視察の再開に反対！

昨年度より京都市の海外視察が再開！

【動物最後施設に関する調査】

※自民、民主、公明の議員が参加。

- ・ヨーロッパ 7泊8日
- ・議員視察費ひとりあたり100万円の予算
- ・同行職員を含め1,000万円近い経費発生



しかし、この海外視察は
H18 住民訴訟「観光目的化している」
⇒実施凍結に至っていた

「京都党の考え方」

財政非常事態宣言中、再開することは適当ではないため、反対。万が一実施するなら政務調査費の枠で実施すべき。

進む！議員特権廃止



議員年金の廃止

厳しい年金財政の状況を踏まえ、平成23年6月をもって廃止。



費用弁償の廃止

本会議や委員会へ出席した際、日額で支払われる費用弁償を廃止。

京都党とは

地域政党「京都党」とは、平成22年8月に前市議員、企業経営者、元副市長、大学教授らと共に結党。現職市議は4名。地方主権で財源と権限の移譲が進む中、京都市の特色を活かすと共に、地域課題に根差した政策立案により、京都市政の新しい街づくりを目指す政党。



ポスターご掲示のお願い



【主な設置場所】

- ・ご自宅の壁
- ・ガレージのフェンス
- ・お庭や畑 など

ポスター掲示には是非ご協力をお願い致します！
お問い合わせは、事務所までご一報ください。

プロフィール

嵐山小、嵯峨中、
北嵯峨高校 卒業。

- ・昭和60年10月生まれ。
- ・嵯峨野保育所
- ・嵐山小学校（H9年度卒）
- ・嵯峨中学校（H12年度卒）
- ・北嵯峨高校（H15年度卒・27期生）
- ・同志社大学政策学部卒業
- ★在学中、市会議員学生秘書
- ・株式会社ミスミ（東証一部）勤務
- ・平成23年、7,863票を賜り25歳初当選
- ・同年4月、京都市議会議員 着任
- ・京都党幹事長／京都市市会議員団団長

江村りさ事務所

〒616-8101 京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB

TEL/FAX 075-354-6225

E-mail emurar@nifty.com HP <http://www.emurarisa.jp/>